

家庭学習プリント【5年家庭科 私の生活、大発見!②】

組 番 名前 _____

② 教科書 10～11 ページを見て、お茶のいれ方を確認しましょう。家族のために、こんろで湯をわかして、お茶を入れてみましょう。

※ 安全に気を付けて、家の人がいるときに調理しましょう。

※ 材料や用具がそろわないときは、家の人と相談して、他の物を使いましょう。お茶の種類は、家にあるものでかまいません。

実習日		料理名	
月 日 ()		お茶	
材料	分量 1人分	分量 ()人分	必要な用具、食器
茶葉 (せん茶)	2g (小さじ1)	g (小さじ)	計量カップ、計量スプーン、やかん、きゅうす、茶たく、 湯のみ茶わん、おぼん
湯	100mL ($\frac{1}{2}$ カップ)	mL () カップ)	

調理手順

準備する	・身支度・手洗い・材料・用具・食器
↓	
調理する	
<手順>	
1 量る	<ul style="list-style-type: none"> ・人数分より少し多い量の水を量り、やかんに入れる。 ・きゅうすに人数分の茶葉を入れる。
2 湯をわかす	<ul style="list-style-type: none"> ・やかんをこんろにかけ、火をつける。 ・ふっとうしたら火を消す。
3 お茶を入れる	<ul style="list-style-type: none"> ・わかした後、少し冷ました湯をきゅうすに注ぎ、1分くらいむらす。 ・人数分の湯のみ茶わんに、同じ分量やこさになるように、少しずつ回しながら注ぐ。 <p>※2はい目もおいしくいられるように、きゅうすのお湯は残さず注ぐ</p>
4 お茶をいただく	<ul style="list-style-type: none"> ・おぼんに湯のみ茶わんと茶たくをのせて運ぶ。 ・茶たくに湯のみ茶わんをのせて、出す。 ・色や香りを楽しみながら味わう。
5 かたづける	

よりよいお茶のいれ方について、気づいたことや考えたことを書きましょう。

家族みんなの湯のみ茶わんに、お茶を少しずつ回しながら注ぐことで、

濃さや分量を同じくらいにすることができた。少し冷ました湯で入れた

ことで、しぶくならず、おいしいお茶をいれることができた。

家庭学習プリント【5年家庭科 私の生活、大発見！③】

組 番 名前 _____

3 できることを増やしていこう

これから自分ができることを少しずつ増やし、**家族の一員**として、進んで家庭生活に関わっていきましょう。

(1) 「お茶をいれてみよう」の実習をふり返り、上手にできた点や課題を考えましょう。また、どのように改善するとよいか考えましょう。

<上手にできた点>

- ・ やかんの大きさに合わせて、ほのおを調整することができた。
- ・ やけどに気をつけて、安全にこんろを使うことができた。
- ・ ふっとうした湯を、忘れずに少し冷ますことができた。

<課題>

- ・ やかんの水気をふき忘れたまま、火にかけてしまった。
- ・ 注ぐのに時間がかかって、みんなのお茶のこさが少しずつちがってしまった。

<改善点>

- ・ 湯をわかす前に、やかんの底やまわりがぬれていないか、確認する。
- ・ 同じ濃さになるように、少しずつ回しながら手早く注ぐ。

(2) 前のページに書いた改善点かいぜんてんや新たな工夫くふうを取り入れて、家庭で自分にできる仕事を見つけ、計画を立てましょう。

☆自分にできそうなこと

<何を>	<いつ>	<どのように>
(例) 夕食の盛りつけと配膳 <small>はいぜん</small>	夕食の前	みそ汁 <small>しる</small> をよそって運ぶ
お茶をいれる	夕食の後	家族みんなの食後のお茶をいれる。
ごみ出し	朝	朝食の後、もえるごみとリサイクルごみを出す。

☆仕事実行表 進んでした◎ 言われてした○ できなかった× しなくてよかった／

<仕事内容>	5 / 18	5 / 19	5 / 20	5 / 21	5 / 22
お茶をいれる	◎	×	◎	／	○
ごみ出し	／	○	／	◎	◎

<ふり返り> ごみ出しをしたことで、ごみの分別の仕方が分かった。コンロの使い方に気をつけて、お茶をいれることができた。	< (お母さん) より> 少しずつコンロの使い方が上手になって、安心してお茶をいれてもらうことができました。今度は、おやつの時間に紅茶をいれてみてほしいです。
--	--

<さらに改善できそうなこと> 「言われてした」が2回あったので、家族の一員として進んで仕事をするように気を付けたい。ごみを小さくまとめて、ごみ出しをできるようにしたい。

お茶 道具や器

日本の伝統的な文化として、「お茶」と「道具や器でんとうてき」があります。教科書12ページを読み、お茶の種類やいれ方を確認しましょう。また、日本茶をいれるための道具や器の種類を調べ、生活との関わりを考えてみましょう。